



～本会議場の様子～

『平成18年度一般会計および各特別会計決算認定』 選挙により新議長・副議長決定

10月定例会の概要

草津市議会は、10月17日から11月6日までの21日間にわたって10月定例会を開き、平成18年度草津市一般会計歳入歳出決算など、市長提出議案26件を原案どおり認定、可決および同意いたしました。また、議員提出議案は、11月6日に、意見書5件、議員派遣1件が提出され、意見書2件と議員派遣1件がそれぞれ可決され、意見書3件が否決されました。なお、10月26、29日においては、上程された議案に対する質疑および一般質問を19人の議員が行いました。要旨については、次頁以降のとおりです。

主な内容

- 一般質問……………2～7
- 12月定例会の予定……7
- 議会構成一覧表……………8
- 可決された議案等……………8
- 編集後記……………8

議長・副議長就任の挨拶



副議長 中島 一廣



議長 木村 辰巳

今回の正副議長選挙において、議員各位のご支持を得て、議長、副議長の大役に就任させていただきましたことは、誠に身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感しています。

さて、我々地方自治体に関わる者として、現在最も高い関心事と言え、地方分権の推進であります。地方分権は、国と地方行政との構造改革を進める上で極めて重要な課題であり「地方に出来ることは地方に」との方針のもと、国と地方の役割分担が見直され、ますます国庫補助負担金の廃止や縮小等が図られるなど、様々な制度改革が進められています。

特に税財政面では地方交付税、国庫補助負担金の見直しと併せ、税源委譲を含めた税源配分の見直しが行われるなど大変厳しい内容ではありますが、こういった困難な局面でこそ行政と議会とが連携し、草津市の未来のために最善の対策を講じておかなければならないと考えております。

今後とも市民の皆様のために誠心誠意尽くして参りますので、皆様方の暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。